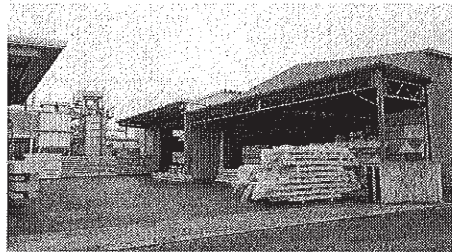


船明でプレカット工場建設へ

スカイ



スカイの豊岡第2工場

豊岡第2工場にも新型構造材ライン

スカイ(静岡県磐田市、高橋幸嗣社長)は、同社船明拠点(浜松市)で柱材加工を主体とするプレカット新工場棟の建設に着手した。新設ラインと既設工場からの移設4ラインを集約して生産性の向上を図る。また柱材ライン移設に伴い、本社隣接の豊岡第2工場に在来・金物両対応の新型構造材加工ラインを増設する。いずれも稼働開始は今年8月を予定している。総投資額は約3億5000万円。

同社のプレカット事業は現在、天竜川沿いの本社工場と隣接の豊岡拠点2工場で構造材(在来・金物)や特殊材の加工を、船明拠点2工場で羽柄材と合板の加工を行っており、月間約1万坪の体制を敷いている。新工場は、昨年夏に開設した船明合板工場

の隣接地に建設される。豊岡第2工場から柱材加工4ライン(宮川工機製)を移設する。また、新たにMP SIV8シリーズ(同)の加工を、船明拠点2工場で行う。MP SIV8シリーズ(同)の加工を、船明拠点2工場で行う。MP SIV8シリーズ(同)の加工を、船明拠点2工場で行う。

ECO friend

基材にCOC認証合板(FSC、PEFC)、国産・海外植林木、リサイクル材を製品体積の70%以上使用した環境配慮の床材です。

銘木フローア-MAX
銘木フローア-ST

IKUTA 株式会社 イクタ

〒489-0979 愛知県瀬戸市坊倉町1117
Tel.0561-85-2461 Fax.0561-85-0310
<http://www.ikuta.co.jp>

社員募集 営業・製造 東京・大阪・名古屋

今回の設備投資について高橋社長は、「木造建築の加工内容や要望の変化に対応するもの」と話し、生産コストの削減と従業員の負担軽減を図るとともに、生産能力の拡充により一層の安定供給体制を構築したいと強調した。

やドリフトピン自動打ち込み機なども整備。在来・金物工法それぞれの多様な加工要請に応えられる体制を整え、特に増加傾向にある金物工法物件の対応力(キャパシティ)を強化する。

量は361万立方尺で前年比6.4%減。うち、国産材は230万3000立方尺で同6.3%減、外材は130万7000立方尺で同6.6%減。国産材率は63.8%で同1.1%増。

単板製造用素材入荷量は361万立方尺で前年比6.4%減。うち、国産材は230万3000立方尺で同6.3%減、外材は130万7000立方尺で同6.6%減。国産材率は63.8%で同1.1%増。

輸入合板は2桁増える

2011年の内外産合板供給量は600万8000立方尺で、前年比3.6%増と2年連続で増加し、3年ぶりに600万立方尺台に乗せた。東日本大震災で東北・太平洋岸の合板工場に甚大な被害が発生したが、国産合板は全国の非被災工場がフル生産で供給し、生産減少分を補った。震災後は構造用を中心に輸入合板の入荷も増加し、輸入品は前年比2桁プラスで、数値上は国産合板の減少分を輸入品で補完した。昨年の輸入比率は61%に上昇し、前年比6.8%増加した。

昨年の輸入合板は366万6100立方尺で前年比17.1%増、国産合板は234万1800立方尺で同12.3%減となった。

輸入合板は震災直後から5月にかけて、国内メーカーの津波被害の大きさや震災後の不足感で日本から大量発注された。5月以降、マレーシア産を筆頭にインドネシア、中国、北米などから荷物が到着し、主要港の倉庫を埋めていった。需要側の買いが裏目に出て、大量の仮需で不要品まで調達し、なかには異業種まで合板輸入に着手することになった。

2011年12月の合板供給量 単位:1,000m³、%

区分	2011年		2010年	
	12月	前年同月比	12月	前年同月比
マレーシア	117	101.7	1,553	103.6
インドネシア	96	125.8	1,061	116.9
中国	62	113.1	810	134.9
ニュージーランド	5	94.0	62	147.7
カナダ	—	68.3	59	1110.7
その他	9	120.1	118	160.2
輸入合板計	292	111.4	3,666	117.1
国産普通合板(うち針葉樹合板)	209	92.0	2,341	87.7
国産供給量合計	188	95.4	2,054	89.0
供給量合計	502	102.4	6,008	103.6

※国産合板には2011年2~9月分まで岩手・宮城県分を含めていない。また、10月分針葉樹合板は、全針葉樹合板のみのデータ。国産合板加工業組合連合会資料を基に作成。

に入荷がまとまり同16.9%増、中国産は5月入荷が10万立方尺超えて瞬発力を見せ、通量28.9%(月間6万2500立方尺分)が被害を受けた。非被災工場はフル生産で合板需要に対応し、4月以降の生産量を押し上げた。被災工場は早いところから7月から一部生産を再開し、被災工場の復旧から一部生産を増やして、被害が進行した。

単板製造用素材入荷量は361万立方尺で前年比6.4%減。うち、国産材は230万3000立方尺で同6.3%減、外材は130万7000立方尺で同6.6%減。国産材率は63.8%で同1.1%増。

住友林業(東京都、市川晃社長)は、4月1日に100%出資連結子会社スミリンライフアシストを吸収合併する。スミリンライフアシストは介護施設、高齢者向け住宅の賃貸、資産管理等を行っているが、グループ内の経営効率化を図るため吸収合併することになった。

輸入合板は2桁増える

11年合板

2011年の内外産合板供給量は600万8000立方尺で、前年比3.6%増と2年連続で増加し、3年ぶりに600万立方尺台に乗せた。東日本大震災で東北・太平洋岸の合板工場に甚大な被害が発生したが、国産合板は全国の非被災工場がフル生産で供給し、生産減少分を補った。震災後は構造用を中心に輸入合板の入荷も増加し、輸入品は前年比2桁プラスで、数値上は国産合板の減少分を輸入品で補完した。昨年の輸入比率は61%に上昇し、前年比6.8%増加した。

集成杉・桧・唐松

各県産材ご用命下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

住友林業(東京都、市川晃社長)は、4月1日に100%出資連結子会社スミリンライフアシストを吸収合併する。スミリンライフアシストは介護施設、高齢者向け住宅の賃貸、資産管理等を行っているが、グループ内の経営効率化を図るため吸収合併することになった。